



「性と健康を考える女性専門家の会」勉強会

「GID 当事者が医療に望むこと」

講師: 林 夢都美 (性と健康を考える女性専門家の会 会員)

日時: 2016年3月26日(土) 18~20時

会場: 朝日エル会議室 東京都中央区築地 2-12-10 築地MFビル 26号館 5階
(東京メトロ日比谷線 築地駅 歩1分、1階にソフトバンクが入っているビルです)

参加費: 会員 700円 非会員 1,200円 学生 500円 (当日受付でお支払いください)

参加申込: お名前、ご所属、会員/非会員の別、ご連絡先を明記の上、

「性と健康を考える女性専門家の会」事務局までメールでお申込ください。

pwcsh@ellesnet.co.jp

2003年に性同一性障害者の性別の取り扱いの特例に関する法律(特例法)が成立して、はや10年が経過しています。これまでに性別変更をした人は、10,000人をゆうに超えています。

GID当事者が、性別変更という目標をどのようにして達成したかを講師の実例をもとに詳しく解説します。

診断・治療のガイドラインも時代が変わるにつれて変化しており、当事者達が抱えている問題も多種多様となっています。

今、GID当事者が医療に対して何を望んでいるのかを、この講演を通して伝えたいと思っています

【講師プロフィール】

林 夢都美

フリーランスのエンジニア。

1970年石川県生まれ。幼少期から性別違和を抱えており、2005年から性同一性障害(MtF)の治療を開始。2006年7月に改名。2010年1月に性別適合手術を受け、同年4月に性別を男から女に変更。現在、複数のセクシャルマイノリティを抱える当事者として活動中。